

【事例6】つるが伸びてきたアサガオの世話の仕方を考えよう。

指導要領	内容(7) 動物を飼ったり植物を育てたりする活動を通して、それらの育つ場所、変化や成長の様子に関心をもって働きかけることができ、それらは生命をもっていることや成長していることに気付くとともに、生き物への親しみをもち、大切にしようとする。
単元の目標	植物を継続的に栽培する活動を通して、それらの育つ場所、成長の様子に関心をもって働きかけ、それらは生命をもっていることや成長していることに気付くとともに、植物に親しみをもち、大切にしようとするができるようにする。
本時のねらい	毎日の世話を通してアサガオの成長や変化に気付き、それらに応じた世話の工夫を考えることができるようにする。

キーワード：生活経験 自己決定 「自分の」

T: みんなのアサガオの様子はどうかかな？

H: 保育園のときは、2階のベランダからネットを垂らして、アサガオがそれに絡まるようにしていたよ。
I: ぼくたちの園は、こんな(手振りを交えて)グルグルって巻き付く棒みたいなのを立てたよ。
J: キュウリを育てたときは、竹の棒と縄でこんなのを(黒板で絵をかきながら)作ったよ。
K: 去年の1年生はどんなお世話をしたのかな。聞いてみようかな。

L: ぼくは、ネットに巻き付けてどんどん上に伸びるようにしたいな。2階からつるしてもいいかな。
H: それだと鉢を動かせないよ。
M: わたしは、栽培セットの支柱にする。だって、鉢にぴったりだから。
N: わたしは、針金でアーチみたいにしたいな。できるかな。
O: 肥料はあげなくてもいいのかな。トマトを育てたとき、途中で肥料をあげたよ。

(D 児の鉢を見せながら)
D: こんなふうに鉢からはみ出して横にのびていくんだ。
E: ぼくのアサガオも同じ！今朝は、Fくんのアサガオにからまっていたんだよ。
G: どうして上に伸びないのかな。踏まれないように壁際に置いたんだけど・・・

T: はみ出しちゃうって、どんなふうになるの？見せてくれる？

T: このままでよいのかな？それとも何かしてあげるとよいのかな？

T: 自分のアサガオに、どんなお世話をしてあげたいかな？どんなお世話ができそうかな？

○つぶやきや発言に「ふたば」「ほんば」「つる」を指す言葉が出たら、みんなで実物を見ながら確認する。
○E児のような発言を待つ、または意図的指名をして、つるが伸びてきて困っている発言を話合いの中心(今日の課題)にする。

○実物を提示することで、アサガオの成長に違いがあるが、つるが鉢からはみ出す困り感や何とかしたいという願いを共有できるようにする。
○問い返しや指名することで、世話の仕方に絞って話し合えるようにする。

○「このままでよいのかな？」と揺さぶりをかけることで、「このままじゃだめ！なんとかしたい！」という思いが高まるようにする。
○園での栽培経験を掘り起こすような問い返しや補助発問をすることで、植物には成長や特徴に合わせたお世話が必要なのに気付くようにする。

○「自分のアサガオに」と投げかけることで、自分のアサガオがどんな風に育てほしいかを想像しながらお世話の仕方について考えられるようにする。
○既成の栽培セットの支柱も提示するが、「自分で準備できるもの」であれば支柱として利用してもよいことを伝え、思い思いの栽培の仕方を考え、実行できるようにする。

子供の動き

授業者の動き

授業者の手立て